

雨上がりに園庭に水たまりができて、それを保育者が知らせると、「ほんまや！」と園庭に出ていく子ども達。年少時の経験からすぐに水たまりで遊び始める幼児、友達の様子を見ている幼児、それぞれに水たまりに興味をもっている姿が見られました。水たまりを日常の環境として幼児が主体的にかかわれるように“やってみたい”気持ちを大切にしながら保育者も一緒に感触を楽しんだり、試したりしています。

水たまり発見！



指に泥が付いた♪

興味もってる姿が嬉しいなあ♪

⑦

手を入れてみよう♪



次の日…水たまりはどうなってるかな？



あれ？硬くなってる！

昨日とは違って気付いた♪大発見！

②

① 幼児の思い



- ・水たまり触ってみたい
- ・硬くなった水たまりの泥を触ってみよう
- ・硬くなった水たまりに水を入れたらどうなるかやってみたい

保育者の願い



- ・泥の感触を味わって欲しい
- ・継続して泥に関わる中で幼児なりに泥の様子の変化に気付き、不思議さや面白さを感じて欲しい

幼稚園で初めての水たまりや泥との出会い。思い切り試したり関わったりできるように見守り、楽しさや面白さを共感しています。

また泥んこになった♪



試しているいろいろなことに気付く姿が嬉しいなあ♪

柔らかい♪気持ちいい♪



水を入れたら…どうなる？

★ 泥で遊びたい！

トロトロ～気持ちいい！

日によって触り心地が違うね！面白いことに気付いたね♪



チョコレートみたい～

⑥

⑨

いろいろな容器に泥を入れてみよう！



容器に入れるとイメージが広がるね♪

草花を使うとイメージがさらに広がるね♪



ホットケーキにお花をトッピング

お味噌汁みたい！

いっぱい作りたい！



完成！いただきまーす！

幼児の思い



- ・もっと泥を触りたい
- ・砂場の玩具を使って泥で遊びたい
- ・いろいろなご馳走を作りたい
- ・皆でパーティをして食べたい

保育者の願い



- ・泥で遊ぶ中で自分がイメージしたものを作る楽しさを味わってほしい
- ・友達との言葉のやりとりをしながら遊ぶ楽しさを感じてほしい

水たまりや泥での遊びを繰り返す中で、触って感触を楽しむ→ものを使って泥を楽しむ姿が見られるようになりました。その中で自分なりにイメージが広がり、「チョコジュースみたい」「カレーみたい」「ホットケーキ」など、見立てて遊ぶことにつながっていききました。また友達の作ったごちそうを見て真似をしたり、一緒にしてみたりと、友達とやりとりをしながら一緒に遊ぶ姿も見られました。泥の面白さを感じ、遊びに取り入れることが楽しくなっています。